防除所レポート

フェロモントラップへのトマトキバガの誘殺数が多い状況です。

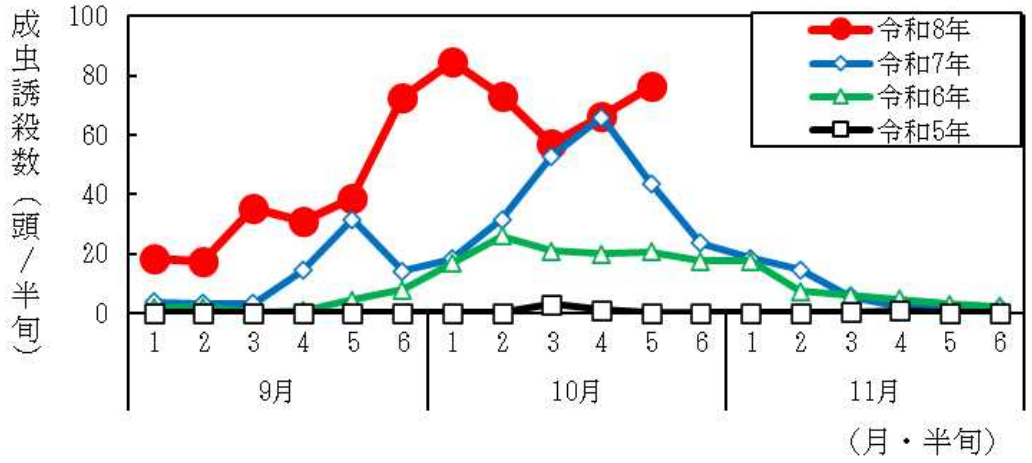
トマトほ場等への飛び込みや発生に注意しましょう。

県内 4 地点に設置しているフェロモントラップにおいて、トマトキバガ雄成虫の誘殺が 9 月第 5 半旬以降急増し、過去 3 年間と比較して誘殺数が多い状況で推移しています（図）。

本県では、令和 8 年 8 月にトマトにおいてトマトキバガによる被害が認められました。ほ場をよく観察し、本虫の発生に注意してください。

なお、前年は 11 月末まで誘殺が確認され、他県では、冬期間でも施設内での発生が継続的に確認されていますので、今後も施設内への飛び込みや発生に注意しましょう。

※トマトキバガの形態や防除対策等については、令和 8 年 10 月 14 日発表の病害虫速報 No. 6 を参照してください。



図：フェロモントラップへのトマトキバガ雄成虫の誘殺状況（県内 4 地点合計）